

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護給付適正化事業			会計	款	項目	大事	小事
				08	03	02	02	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護（予防）サービス利用者及び居宅支援事業所	意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な介護サービスが受けられるようにする。</li> <li>適正な居宅介護サービス計画が作成できるようにする。</li> </ul>
事業内容	介護給付費通知の作成と発送：介護サービス利用者に対して、サービス利用料の請求状況を通知し、不正請求の防止を図る。 ケアプラン点検：市職員が居宅支援事業所を訪問し、ケアプランの内容の点検及び指導を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年7月 介護給付適正化支援パッケージシステム購入 平成23年2月 流山市ケアプラン点検事業実施要領作成			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 介護給付費通知発送件数	15,222	16,554	17,751	件	→→	
	② ケアプラン点検実施事業所数	5	6	3	件	↗↗	
	③ 不適切請求指摘件数	732	14	184	件	→→	
	④ 不適切請求による報酬返還額	2,404,084	82,095	325,742	円	→→	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山市ケアプラン点検事業実施要領に基づき、ケアプラン点検を実施（平成26年度 3件実施） 不適切請求 184件 報酬返還額 325,742円						介護保険事業の適正かつ効率的な運営のために、不適切な介護給付を削減し介護給付の適正化を図るもので、今後も引き続き継続する。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		15,165,857	12,223,876	12,299,501			
事業費(b)(円)		6,891,857	4,140,876	4,294,235			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		8,274,000	8,083,000	8,005,266			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き事業所へケアプランの点検及び指導を実施すること。</li> <li>点検表の見直しを行い、より詳しいものに変更すること。</li> </ul>	③取り組みの課題	点検表の見直しについては、項目内容の変更や調整は行ったものの、詳細な変更は行えなかった。
②今年度(H26)に実施した取り組み	事業所への訪問に加え、不適切と思われる加算を算定している事業所に対して点検シートを送付し、ケアプランの確認を促した。	④今後の改善計画	引き続き事業所への点検・指導を行うほか、点検表の内容の精査も行っていきたい。平成27年度の介護保険制度改正に対応した点検表を作成する。